

JANOME

第80期 中間事業報告書

(平成17年4月1日▶平成17年9月30日)



JR2200N mini



スーパーセシオ
SECIOPC

蛇の目ミシン工業株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第80期上半期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）の営業結果についてご報告申し上げます。



（1）経営成績

当中間期は、記録的な原油高に伴う原材料費の高騰により生産コストが圧迫され、依然として先行き不透明感が続いております。一方、国内におきましては、米国や中国の堅調な成長持続を受けた輸出の増加に伴い企業収益が改善された結果、設備投資が増加し、雇用情勢の改善が進むとともに、個人消費の増加も景気を牽引いたしました。

当社グループにおきましては、引き続き営業の拡大ならびにトータルコストの見直しによる収益性向上を目標に、迅速な意思決定のもとで効率的なグループ経営に努めてまいりました。

これらの結果、当中間期の**連結売上高**は、前年同期並の**229億7千5百万円**となりました。また、**営業利益**につきましては原材料費の高騰による売上原価の増加から**12億3千4百万円**（前年同期比18.2%減）の計上となり、**経常利益**につきましては、営業外収支の改善に努めたものの、**10億5千4百万円**（前年同期比17.1%減）の計上となりました。当中間期の**純利益**では**6億1百万円**（前年同期比19.1%増）の計上となりました。

単独決算につきましては、当中間期の**売上高**は、ミシン、24時間風呂、産業機器のいずれもが前年同期実績を上回ったことから、**199億5千万円**（前年同期比2.1%増）となり、**営業利益**につきましては、売上原価は増加したものの販管費の削減努力により、**10億6千3百万円**（前年同期比7.9%増）となりました。また、**経常利益**は**19億5千2百万円**（前年同期比2.3%減）となり、当中間期の**純利益**では法人税等の減少により**16億8千6百万円**（前年同期比19.6%増）の計上となりました。

なお、株主のみなさまには誠に申し訳なく存じますが、中間配当金は無配とさせていただきます。

次に、連結決算につきまして、事業セグメント別の概況をご報告申し上げます。

<ミシン関連事業>

海外ミシン販売につきましては、北米市場ならびに欧州市場において販売子会社・代理店ともに好調に売上を伸ばしました。

国内直営販売につきましては、新たな教室展開や販売促進キャンペーン等の多様な販売施策を実施し、ミシン需要の喚起に努めました。

一方、代理店向け販売では、他社との競合が一層激化する厳しい市場環境のもと、新製品投入や販売促進支援を推し進め、積極的な営業活動を展開いたしました。

しかしながら、訪問販売を取り巻く厳しい環境や、低価格化による影響を受け、国内ミシン売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、**ミシン関連事業の売上高**につきましては、ほぼ前年同期並の**170億8千1百万円**の計上となりました。

<24時間風呂・整水器事業>

24時間風呂・整水器につきましては、積極的な顧客開拓や各種キャンペーンの実施ならびに販売研修の充実等を通じて営業強化を図った結果、**24時間風呂・整水器事業の売上高は、14億1千2百万円**（前年同期比7.9%増）の計上となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業につきましては、自動車や家電産業の活況により企業の設備投資が増加したことや、他社とのコラボレーションの積極的な推進等から、当社の卓上ロボット、エレクトロプレスの需要が拡大いたしました。

また、国内外で開催された各種展示会への積極的な参加により、「JANOME」製品の優位性をアピールしてまいりました。

これらの結果、**産業機器事業の売上高は、21億9百万円**（前年同期比18.9%増）の計上となりました。

<その他サービス事業>

電算情報処理サービス、24時間風呂据付サービス等に、当社の不動産賃貸収入を加えた**その他サービス事業の売上高は、23億7千1百万円**（前年同期比13.4%減）の計上となりました。

(2) 財政状態

当社は、財務体質の強化等を図るため、平成17年6月23日に「2010年満期円貨建転換社債型新株予約権付社債」を発行し、平成17年8月31日をもって、全額25億円の転換が終了したことにより、資本金、資本剰余金がそれぞれ12億5千万円増加いたしました。

当社グループの当中間期末の**総資産は、635億4千9百万円**（前年同期比29億8千2百万円減）となりました。

負債の部では、有利子負債が前年同期に比べ31億9千5百万円減少したこと等により**469億6千2百万円**（前年同期比31億2千5百万円減）となりました。

また、前期末70億円の貸倒引当金を計上したことから大幅に減少した**資本の部**は、前期末に比べ45億1千6百万円増加して**160億6千4百万円**（前年同期比1億2千5百万円増）となりました。

当中間期のキャッシュ・フローの状況は、**営業活動によるキャッシュ・フローは2億5千5百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローは6億2千8百万円のプラス、財務活動によるキャッシュ・フローは2億8千2百万円のプラス**となりました。

これらの結果、**現金及び現金同等物の当中間期末残高は43億1千1百万円**となりました。

(3) 今後について

今後につきましては、引き続き、景気動向について楽観できない状況の中、当社グループは、有利子負債の削減により財務体質の強化を図りつつ、繰越損失を一掃して復配可能な体制を整えることを、経営上の最も重要な目標として、全社一丸となって邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **加藤 澄一**

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(平成17年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	22,960	流動負債	28,874
現金及び預金	4,362	支払手形及び買掛金	4,772
受取手形及び売掛金	8,719	短期借入金	20,040
有価証券	29	一年以内償還予定の社債	1,000
たな卸資産	8,777	未払法人税等	312
その他	1,275	賞与引当金	684
貸倒引当金	△ 204	その他	2,064
固定資産	40,589	固定負債	18,087
有形固定資産	23,428	社債	2,000
建物及び構築物	4,620	長期借入金	6,859
土地	16,359	再評価に係る繰延税金負債	3,862
その他	2,448	退職給付引当金	4,575
		その他	789
無形固定資産	589	負債合計	46,962
投資その他の資産	16,571	(少数株主持分)	
投資有価証券	9,621	少数株主持分	523
和議債権等	30,000	(資本の部)	
繰延税金資産	5,788	資本金	8,873
その他	1,285	資本剰余金	1,250
貸倒引当金	△ 30,123	利益剰余金	108
		土地再評価差額金	5,630
資産合計	63,549	その他有価証券評価差額金	1,305
		為替換算調整勘定	△ 1,099
		自己株式	△ 3
		資本合計	16,064
		負債、少数株主持分及び資本合計	63,549

中間連結財務諸表

中間連結損益計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

		科 目			金 額	
経常損益の部の部	営業損益の部	営業収益	高	百万円	百万円	
		売上			22,975	
	営業費用	営業費用	原価	11,269		
		売販売費及び一般管理費		10,471	21,741	
	営業利益				1,234	
営業外損益の部の部	営業外損益の部	営業外収益	利息	18		
		受取配当	息金	23		
		為替による	差益	123		
		持分替に	投資利益	0		
			94	261		
営業外費用の部	営業外費用の部	支そ	利息	340		
		払の	息他	100	441	
		経常利益			1,054	
特別損益の部の部	特別損益の部	特別利益	売却益	9	9	
		固定資産売却益				
		特別損失	損失	185		
		減価償却	資産評価	31		
			24			
			17	259		
税金等調整前中間純利益の部の部	税金等調整前中間純利益の部	法人税、住民税及び事業税			804	
		法人税等調整額			297	
		少数株主調整額			△122	
		中間純利益			28	
					601	

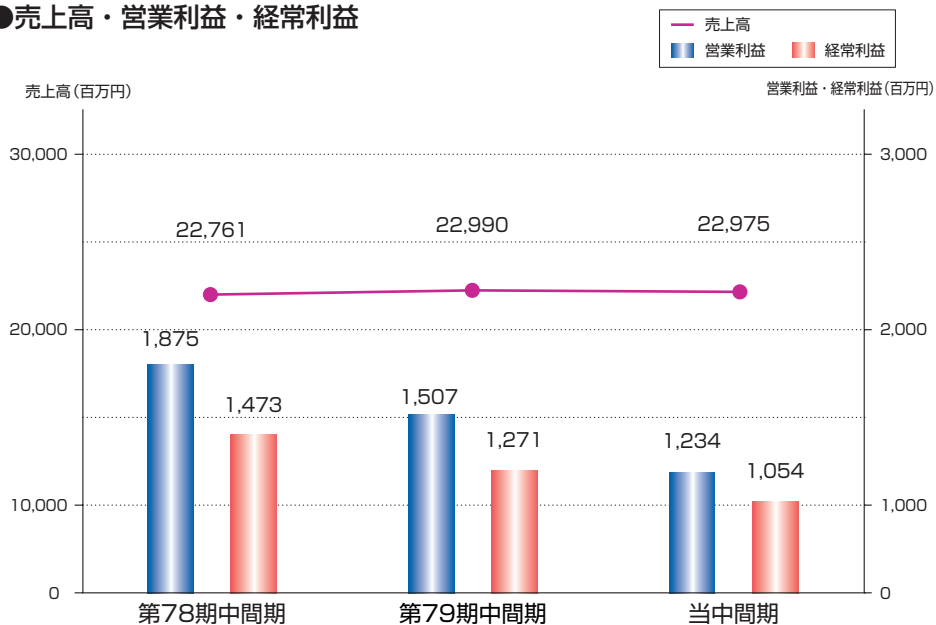
中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

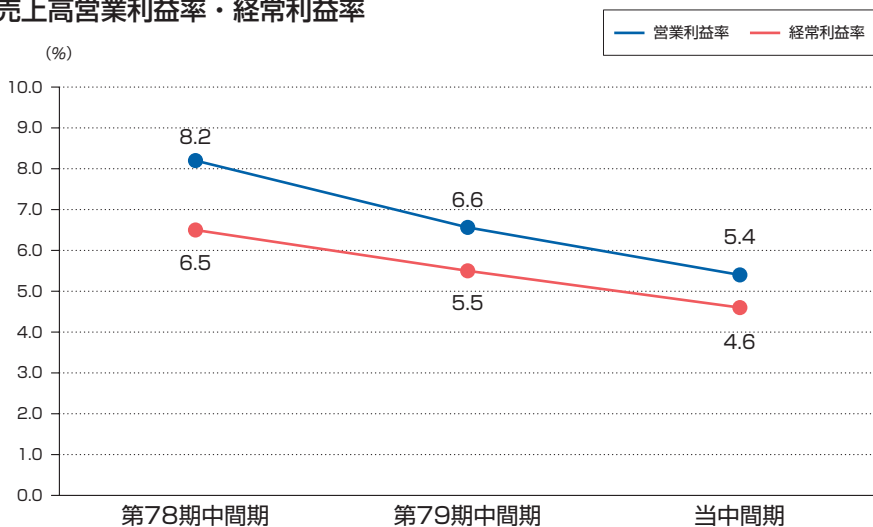
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	255 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	628
財務活動によるキャッシュ・フロー	282
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33
現金及び現金同等物の増減額	1,132
現金及び現金同等物の期首残高	3,179
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,311

中間連結決算概要

●売上高・営業利益・経常利益



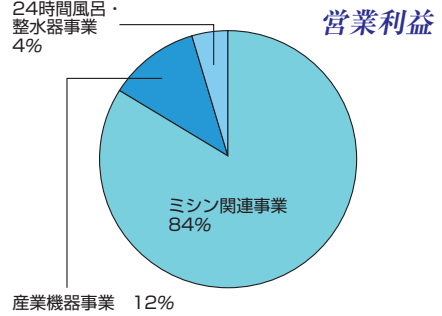
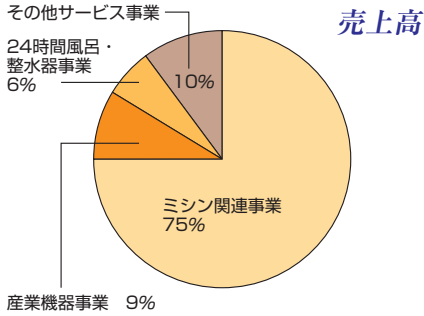
●売上高営業利益率・経常利益率



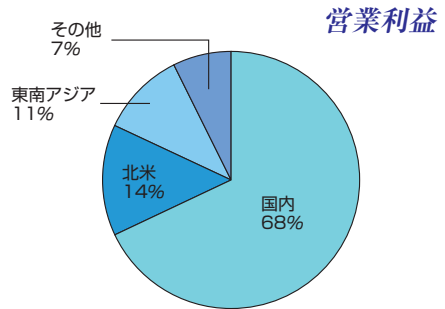
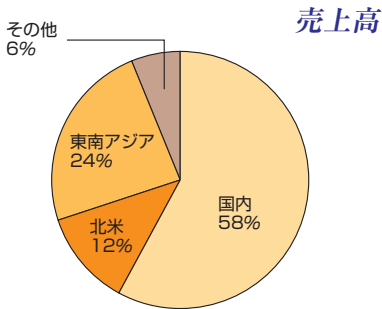
中間連結セグメント情報

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

事業の種類別セグメント



所在地別セグメント



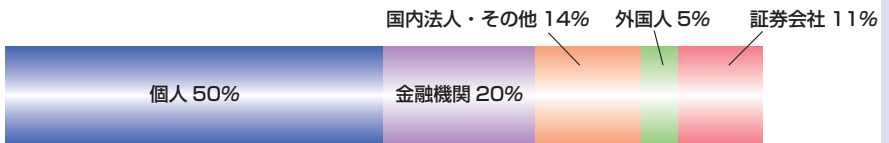
(注) 所在地別セグメントにおける売上高の比率は、セグメント間の内部売上高(又は振替高)を含んだ割合を表示しております。

株式の状況

(平成17年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 360,000,000 株
 発行済株式総数 172,064,320 株
 当中間期末株主数 15,097 名

●株主構成比率(所有株式数ベース)



中間個別財務諸表

中間貸借対照表

(平成17年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	16,561	流動負債	26,112
現金及び預金	3,263	支払手形	1,537
受取手形	1,261	買掛金	6,278
売掛金	7,849	短期借入金	15,694
たな卸資産	2,113	一年以内償還予定の社債	1,000
その他	2,161	未払法人税等	73
貸倒引当金	△ 87	賞与引当金	384
		その他	1,145
固定資産	39,551	固定負債	16,694
有形固定資産	19,981	社債	2,000
建物	3,535	長期借入金	6,707
土地	15,810	再評価に係る繰延税金負債	3,862
その他	636	退職給付引当金	3,398
		その他	725
無形固定資産	586	負債合計	42,807
投資その他の資産	18,983	(資本の部)	
投資有価証券	9,323	資本金	8,873
子会社株式・出資金	3,206	資本剰余金	1,250
和議債権等	30,000	利益剰余金	△ 3,718
繰延税金資産	5,291	土地再評価差額金	5,630
その他	1,286	その他有価証券評価差額金	1,274
貸倒引当金	△ 30,124	自己株式	△ 3
		資本合計	13,306
資産合計	56,113	負債及び資本合計	56,113

中間個別財務諸表

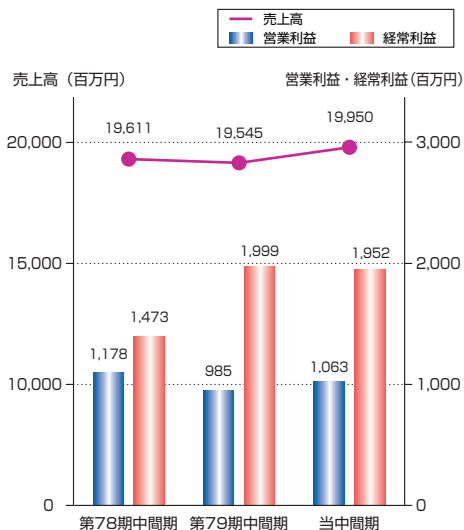
中間損益計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

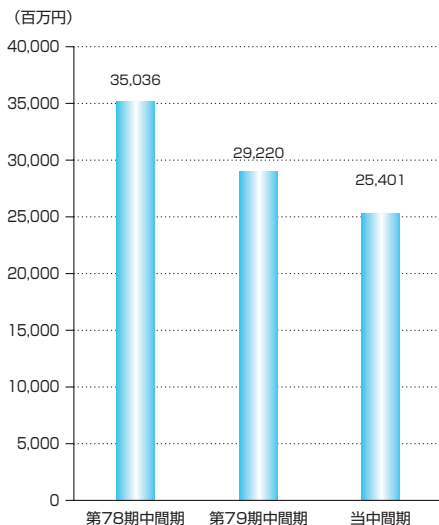
		科 目	金 額	
経常損益の部	営業損益の部	営業収益	百万円	百万円
		売上高		19,950
		営業費用	13,044	
		売上原価		18,886
		販売費及び一般管理費	5,842	
		営業利益		1,063
	営業外損益の部	営業外収益		
		受取利息	16	
		有価証券利息	7	
		受取配当金	1,148	
為替差益		40		
雑収入		32	1,245	
営業外費用	支払利息	252		
	雑損	104	357	
	経常利益		1,952	
特別損益の部	特別利益			
	固定資産売却益	3	3	
	特別損失			
	減損損失	185		
	たな卸資産評価損	22		
	固定資産売却及び除却損	18	226	
税引前中間純利益			1,729	
法人税、住民税及び事業税			113	
法人税等調整額			△70	
中間純利益			1,686	
前期繰越損失			5,506	
土地再評価差額金取崩額			102	
中間未処理損失			3,718	

中間個別決算概要

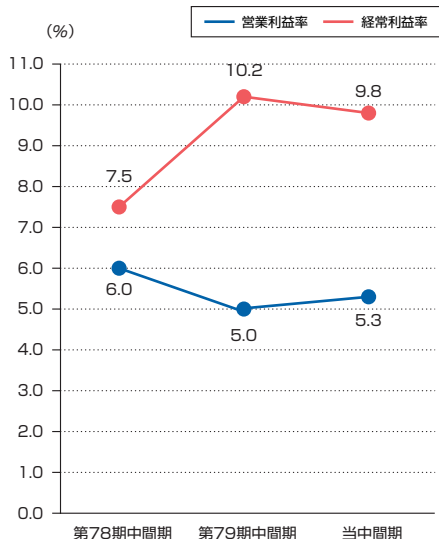
●売上高・営業利益・経常利益



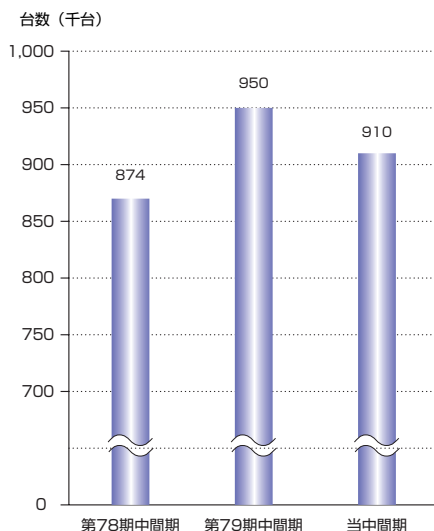
●有利子負債



●売上高営業利益率・経常利益率



●マシン販売台数



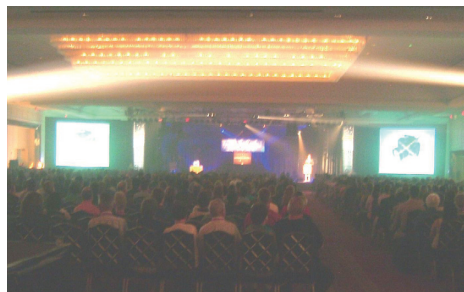
トピックス

●米国で「ジャノメ インスティテュート2005」開催 (2005年7月31日～8月3日、於:米国ニューオーリンズシェラトンホテル)

「ジャノメ インスティテュート2005」が米国南部ルイジアナ州ニューオーリンズのシェラトンホテルにて開催されました。

これは数年毎に全米のディーラーを集めて開催され、新製品紹介の他、操作講習、技術講習、店舗運営相談等の講習を行なうものですが、今回は第10回目を記念して世界20カ国以上から1,250名が参加する過去最大の規模となりました。

初日の31日はレーザービームが飛び交う豪華なオープニングセレモニーが行なわれ、加藤社長のスピーチの後、新製品が紹介されました。



●「国際アパレルマシンショー 2005 (JIAM 2005)」に出展 (2005年5月18日～21日、於:インテックス大阪)



「国際アパレルマシンショー 2005 (JIAM2005)」に当社が出展いたしました。工業用マシンメーカー主体の出展者の中にあって、唯一家庭用マシンメーカーとして単独出展し、「スーパーセシオPC」をはじめとした刺しゅう機能内蔵コンピュータマシンによる刺しゅうならびに高速直線マシン「コステューラ」による縫いの実演を興味深くご覧になるお客様の姿が多数見受けられました。開催期間中に来場された約4万人のお客様に「JANOME」ブランド及び当社製品の品質の高さをPRすることができました。

●高級コンピュータミシン「メモリークラフト5555」新発売



●大きく見やすいディスプレイ

●糸かけサインで準備モスムーズ

●豊富な飾りぬいに加え文字ぬい模様も充実

飾りぬい、文字ぬいなどを合わせて438パターンもの模様が揃い、文字ぬいは縦書きもできるので、とても便利です。

●「ジャノメミシン ショップ吉祥寺」がオープン

2005年10月17日（月）、「ジャノメミシン ショップ吉祥寺」が東京都内JR吉祥寺駅北口にあるサンロード商店街にオープンいたしました。

店内には常時自由にミシンをお使いいただける「ミシンひろば」と「ソーイング教室」のスペースを設け、ビギナーから上級者まで幅広い年齢層の方にミシンを使う楽しさ・作品を作る喜びを味わっていただける店作りをしてみたいです。



●「世界キルトカーニバル名古屋 2005」に出展 (2005年5月20日～22日、於：ナゴヤドーム)

当展示会の入場者数は3万人を超え、連日多くの来場者で賑わいました。当社ブースは、直営支店で取り扱っているミシンの他、キルト作品や刺しゅう作品、小物を数多く展示するとともに、「スーパーキルト」を使ったフリーキルトのデモンストレーションを行ない、来場者の関心を集めました。また、「スーパーセシオPC」を使ったレッドワーク刺しゅうをはじめ、お好みの刺しゅう体験を通じて、ミシン刺しゅうの楽しさを実感していただきました。



●「ワンダーフェスティバル2005-夏」に真空注型機出展される (2005年8月21日、於：東京ビッグサイト)

「ワンダーフェスティバル2005-夏」(入場者約35,000人)で、当社の取引先である(株)平泉洋行様のブースにおいて、卓上型真空注型機が出展され、当社産業機器事業部員がデモを行ない、多くの参加者の関心を集めました。

趣味の世界でのフィギュア同好者が増加する中、フィギュアの製作を行なう企業が当社の卓上型真空注型装置を購入する事例が増えてきています。



真空注型機

●円貨建転換社債型新株予約権付社債について

当社は、将来的な株主資本の充実と財務体質の強化を図るため、6月23日に海外市場で円貨建転換社債型新株予約権付社債25億円を発行し、全額をドイツ銀行に割り当てました。

当社の円貨建転換社債型新株予約権付社債発行は初めてで、エクイティ・ファイナンス（新株発行を伴う資金調達）は1978年以来27年ぶりのことです。

発行した、第1回2010年満期円貨建転換社債型新株予約権付社債は8月31日をもって、全額（25億円）株式への転換が終了しました。

これにより、8月31日現在の発行済株式総数は、172,064,320株、資本金は、88億7千3百万円となりました。

●国際航業（株）株式の売却について

当社所有の国際航業（株）株式1,063万5千株（発行済株式総数の27.87%）を、10月4日付でジェイ・ブリッジ（株）に売却いたしました。

この売却により、2006年3月期決算において約7億円の特別利益を計上し、売却代金は借入金の返済等に充当されます。

●大型ハリケーン「カトリーナ」被害に対する義援金寄付について

8月23日から31日にかけてアメリカ湾岸諸州を襲った大型ハリケーン「カトリーナ」による甚大な被害を受けたニューオーリンズはジャノメ インスティテュート2005を開催した、当社グループにとっても特別の地です。

被災地の一日も早い復興を願い、当社グループとして米国赤十字社を通じて総額5万米ドルを、日本経団連を通じて60万円を義援金として寄付いたしました。

●「ジャノメソーイング教室」について



季節にあわせた素敵な作品を作ってみませんか？



当社直営支店では、「ジャノメソーイング教室」を開講しています。「刺しゅう小物コース」「カット&ソーコース」「ミシンキルトコース」「フリーコース」の4コースから、お好きなコースを選んでご参加下さい。

詳しくは <http://www.janome.co.jp/> 内の【ジャノメソーイング教室開講のお知らせ】をご覧ください。

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	3月31日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)
(電話照会先)	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	電話 03(3323)7111(代表)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
株式取扱手数料	名義書換……………無料 新券交付……………1枚につき200円 単元未満株式の買取りおよび買増し ……………株式の売買の委託に係る手数料 相当額として別途定める金額
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 貸借対照表及び損益計算書に関する情報は、当社ホームページ http://www.janome.co.jp に掲載しております。

お知らせ

◎住所変更、単元未満株式買取および買増請求、名義書換請求、株券喪失登録手続、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120(87)2031で24時間受付しております。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒104-8311 東京都中央区京橋 3-1-1
TEL 03(3277)2071
ホームページアドレス <http://www.janome.co.jp>

